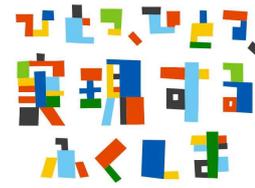


## 主要な農作物の生育情報

令和5年度 第11号

(令和6年2月13日)

福島県農林水産部農業振興課



### 【小麦】

きぬあずまの幼穂形成始期は、農業総合センター本部（郡山市）では1月31日で平年より12日遅く、浜地域研究所（相馬市）では12月22日で平年より30日早くなっています（表1）。

表1 農業総合センターにおける小麦の生育ステージ

調査場所	品 種	は種期 (月.日)	出芽期 (月.日)	幼穂形成始期 (月.日)	節間伸長開始期 (月.日)	出穂期 (月.日)
本 部	ゆきちから	10.20	10.29			
	きぬあずま	10.20(+2)	10.29(±0)	1.31(+12)	(平年値3.10)	(平年値4.25)
会津地域研究所	ゆきちから	10.11(+6)	10.17(+7)	(平年値3.15)	(平年値4.1)	(平年値5.7)
浜地域研究所	きぬあずま	10.21(-4)	10.27(-12)	12.22(-30)	(平年値3.6)	(平年値4.22)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 括弧内の数字は平年差または平年値、本部ゆきちからの平年値はなし

### 【野菜】

#### 1 秋冬にら

収穫は、2年株の4番刈りは平年並の2月上旬から、1年株の3番刈りは平年並の1月中旬から始まっています。一部のほ場では、葉幅が狭いものが見られています。

病害虫は、一部のほ場では、白斑葉枯病やネダニ類の発生が見られています。

#### 2 いちご

促成栽培の普通育苗では、頂果房は収穫が終盤、第1次腋果房は果実肥大期となっています。

夏期の高温により花芽分化が遅れ、平年より生育がやや遅れています。

病害虫は、一部のほ場では、灰色かび病やハダニ類、コナジラミ類の発生が見られています。

### 【花き】

#### 1 ユキヤナギ

12月中旬から始まった出荷は順調に続いています。

目立った病害虫の発生は見られません。

#### 2 サクラ類

12月中旬から始まった出荷は順調に続いており、本格的な出荷期を迎えています。

### 3 ハナモモ

桃の節句に向け、2月初旬から出荷が開始されており、今後出荷量が増えていく見通しです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiiku>